

取材依頼

報道関係者 各位

名画劇場『止められるか、俺たちを』上映とゲストトーク開催について

(公財)しまね文化振興財団(島根県民会館)主催の「名画劇場」では、1972年から月1回のホール上映を行い、ミニシアターの無い山陰地方において上映機会の少ない文芸作品やドキュメンタリー作品など、洋画・邦画を問わず、多様な作品の鑑賞機会を提供し続けています。

3/9(土)の上映では、上映作品『止められるか、俺たちを』脚本の井上淳一氏をゲストにアフタートークを開催いたします。脚本家ご自身の原点にも通じる物語の背景やメディアでは語られない製作秘話などを通じて、来場の皆さまにより深く作品の魅力・映画製作の魅力を感じていただく機会として実施いたします。

また、2019年2月に立ち上げされた自主上映団体「しまねにミニシアターをつくる会」の運営協力のもと実施し、同会設立後の第一歩となる上映イベントとなります。

つきましては、報道関係者の皆様には取材・報道方についてご協力を賜りますようお願い申し上げます。

記

○島根県民会館 名画劇場 上映情報

- ・上映作品：『止められるか、俺たちを』
- ・日 時：2019年3月9日(土) 14:00~/18:30~ (2回上映/本編119分)
※各回上映後に、鑑賞者を対象としたアフタートークを開催
- ・会 場：島根県民会館中ホール

○作品介绍

1969年の若松プロダクションを舞台に、映画製作に命を燃やす若者たちの青春群像劇。若松プロ出身の白石和彌が監督を、井上淳一が脚本を務め、若松孝二役・井浦新をはじめ、若松作品に出演した俳優陣がキャストに名を連ねた。若松孝二の急逝以後、若松プロ映画製作再始動の第一弾としても話題を呼んだ。第61回ブルーリボン賞監督賞(白石和彌)、主演女優賞(門脇麦)など受賞多数。

○ゲスト紹介

井上淳一(イノウエジュンイチ)

1965年生まれ。愛知県出身。早稲田大学卒。85年、大学入学と同時に若松孝二監督に師事し、若松プロダクション作品に助監督として参加。90年、監督・脚本家として活動を開始。監督作『戦争と一人の女』では慶州国際映画祭、トリノ国際映画祭ほか、数々の海外映画祭に招待される。『止められるか、俺たちを』脚本。監督作『誰がために憲法はある』が2019年4月27日公開予定。

○主催等

主 催：島根県、(公財)しまね文化振興財団(島根県民会館)
運営協力：しまねにミニシアターをつくる会(代表・松島彩 080-3896-0060)

以上

- *作品詳細は添付の作品チラシをご覧ください。
- *上映当日のほか、3/8(金)にも井上淳一氏のインタビューをセッティングできます。
- *ご取材の際は、事前に島根県民会館(上記連絡先)までご連絡をお願いいたします。